

1.2 川辺川ダム事業の目的と内容

川辺川ダムは、次項 4 つを目的とした多目的ダムである。

ダムと貯水池諸元を表 1.2-1 に、貯水池容量配分を図 1.2-1 に示す。

(1) 洪水から地域を守る(洪水調節)

梅雨や台風などで大雨が降ったときに、川辺川を流れる水の一部をダムにため、川に流れる水を減らして人吉市や八代市などを氾濫から守る。

(2) 地域の発展に欠かせない農業用水を供給(かんがい)

人吉球磨地方の、1市2町4村にまたがる球磨川右岸(相良村など)の農地は日頃から水が不足傾向にある。この地域は、市房ダムから農業用水が供給されている球磨川左岸(免田町、多良木町など)に比べて農業基盤整備が著しく遅れており、川辺川ダムからこの地域へ農業用水を供給することにより、農作物の収穫の安定や品質の向上が図られ、生産性の向上や農業経営の安定化に貢献する。

(3) 球磨川に水を補給(河川環境の保全、舟運などのための流量の確保)

球磨川を流れる水が少ないときに、アユなどの河川に棲む動植物を守り、また、舟下りに支障が生じないように、ダムから水を補給する。

(4) 暮らしを支えるクリーンなエネルギーを供給(発電)

ダムによる落差を利用し、最大出力 16,500kw の電力を生み出す。このクリーンなエネルギーは、主として人吉球磨地方を中心とした南九州に供給される。

以上のように、川辺川ダムは、熊本県人吉・球磨・八代地方の社会・経済を支える最も根幹となる社会基盤施設の一つである。

表 1.2-1 ダム及び貯水池諸元

位置	左岸:熊本県球磨郡相良村 大字四浦字藤田 右岸:熊本県球磨郡相良村 大字四浦字堂迫	ダムの型式	アーチ式コンクリートダム	
河川名	球磨川水系川辺川	堤高	107.5m	ダム天端標高 EL.282.5m 基礎岩盤標高 EL.175.0m
集水面積	470km ²	堤頂長	約 300m	
湛水面積	3.91km ²	非越流部標高	EL.282.5m	
総貯水容量	133,000 千m ³	常時満水位 サーチャージ水位	EL.280.0m	
有効貯水容量	106,000 千m ³	第1期制限水位 第2期制限水位	EL.252.2m(6月11日から9月15日まで) EL.264.5m(9月16日から10月15日まで)	
洪水調節容量	第1期 84,000 千m ³ 第2期 53,000 千m ³	計画高水流量	3,520m ³ /s	
堆砂容量	27,000 千m ³	洪水調節	計画高水流量 3,520m ³ /s のうち 3,320m ³ /s を調節する。	
利水容量	22,000 千m ³	計画最大放流量	800m ³ /s	

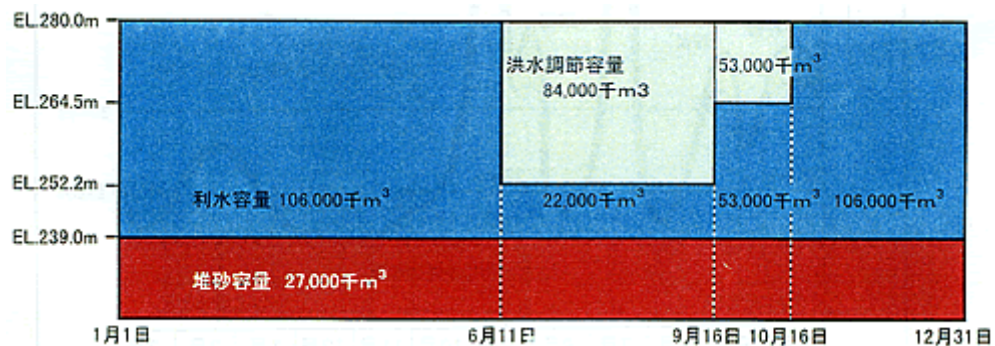


図 1.2-1 貯水池容量配分図

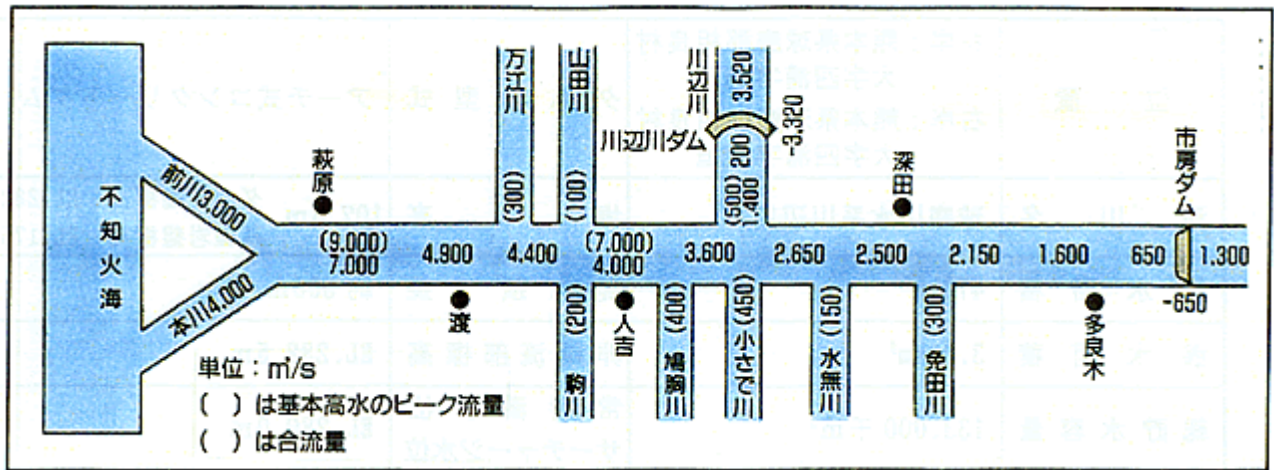


図 1.2-2 計画高水流量図

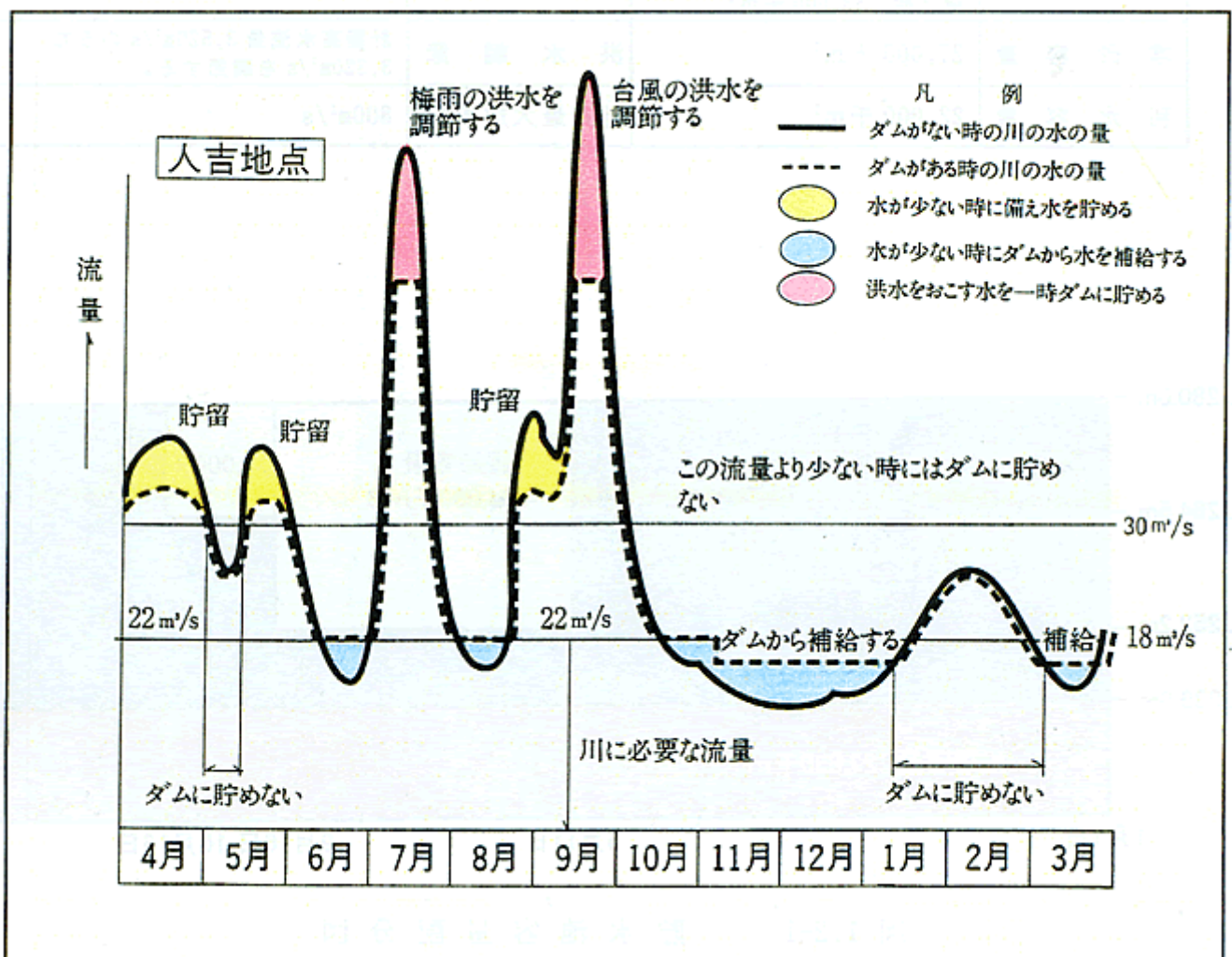


図 1.2-3 川辺川ダムの役割(模式図)